

## 耕畜連携に向けてタスクチームでペレット肥料を作製

今年度、畜産課、農産課、農業改良普及センター及び当センターがチーム(タスクチーム)となり、府内産畜産堆肥を原料としたペレット肥料の利用拡大に向けた活動を行っています。

当センターでは昨年度からペレット肥料の試作等を実施しており、ペレットが湿気を吸って使いにくいという事例がありました。今年度はタスクチームを組織し、窒素補充の目的で添加する尿素を硫酸アンモニアへ変更し、湿気を吸いにくい試作品を完成させました。

チームでは今後、試作したペレット肥料を飼料用米ほ場等で使用し、使用感や稲の生育等を調査する予定です。当センターでは引き続き関係機関と協力して耕畜連携に向けた取組みを推進していきます。



ペレット肥料の成形



チーム員が協力してペレット肥料を作製